

精神疾患拠点死後脳研究チュートリアル 開催のお知らせ

日時：平成24年7月27日（金） 13:00～17:30

会場：東北大学星陵キャンパス 医学部5号館201会議室

- 13時00分-13時05分：開会の挨拶 笠井清登（東京大学）、大隅典子（東北大学）
- 13時05分-13時10分：オリエンテーション 富田博秋（東北大学）
- 13時10分-13時35分：講義「死後脳研究ワンポイントアドバイス（1）加齢が脳に及ぼす変化」
講師：村山繁雄（東京都健康長寿医療センター・バイオリソースセンター・高齢者ブレインバンク）
- 13時35分-14時00分：講義「死後脳研究ワンポイントアドバイス（2）死後脳がもつ多様性について」
講師：岩本和也（東京大学）
- 14時00分-14時25分：講義「死後脳研究ワンポイントアドバイス（3）
どのようにドナーの気持ち汲んで研究し、フィードバックするか」
講師：國井泰人（福島県立医科大学）
- 14時25分-14時55分：
ビデオ・模型講習「死後脳研究に必要な脳解剖の基礎知識」
講師：入谷修司（名古屋大学）、勝山裕（東北大学）
- 14時55分-15時10分：休憩
- 15時10分-16時10分：
グループ1：CPC（臨床病理検討会）デモンストレーション1
講師：関口裕孝（桶狭間病院）、羽瀨知可子（愛知県立城山病院）
グループ2：顕微鏡実習1 講師：新井哲明（筑波大学）
グループ3：顕微鏡実習2 講師：池田研二（香川大学）
- 16時10分-16時25分：休憩
- 16時25分-17時25分：
グループ1：CPC（臨床病理検討会）デモンストレーション2
講師：関口裕孝（桶狭間病院）、羽瀨知可子（愛知県立城山病院）
グループ2：顕微鏡実習2 講師：池田研二（香川大学）
グループ3：顕微鏡実習1 講師：新井哲明（筑波大学）
- 17時25分-17時30分：閉会、アンケート回収



神経科学領域の研究者にはモデル動物やIn vitroの研究に取り組んでおられる方も含め、いずれ人に繋げていきたいとお考えの方も多いためです。しかし、マウスの脳は見慣れていても人の脳の研究となると何となくハードルが高いのではないのでしょうか。分子遺伝学的手法を用いるにしても、形態研究をするにしても、マウスも人の脳の研究も基本的な解析技術には大きな差はありませんが、形態や組織の相違、人の脳に特有の事柄を理解しておかないと、妥当な研究を行うことができないことはいうまでもありません。また、人の脳を扱うに際しては、死後脳を提供して下さる方への感謝や畏敬の念を忘れないことも大切です。

本チュートリアルは、死後脳研究に関心のある神経科学研究者にご参加頂くことで、人の脳の構造や組織の成り立ちを理解し、死後脳研究を倫理的、技術的に適切に遂行し、信頼性の高い結果を得て社会に還元していく上での留意点を把握して頂く趣旨で企画されました。定員20名で小グループ学習形式とさせて頂くことで、講義とともに、脳の正常解剖の概要をビデオや模型も交えながら理解して頂きます。後半は脳構造や神経病理の研鑽を行う上で欠かせないCPC（臨床病理検討会）のデモンストレーションを行うコース（定員10名）、または、顕微鏡実習で脳の正常組織や様々な中枢神経疾患による病理組織の概要を習得して頂くコース（定員10名）を受講して頂きます。ふるってご参加下さい。

★定員：20名

★参加費：無料

★参加申込：下記事務局メールアドレス宛にご氏名、ご所属、連絡先住所、電話番号、メールアドレス、コース（CPC デモまたは顕微鏡実習）のご希望をご連絡下さい。ただし、先着順でコースのご希望に添えない場合もございます。

★事前登録締切：

2012年7月20日（金）午後5時まで

※定員になり次第、締切らせていただきます。

※参加受付のお知らせはメールにて配信させていただきます。

【お問合わせ】

東北大学災害科学国際研究所

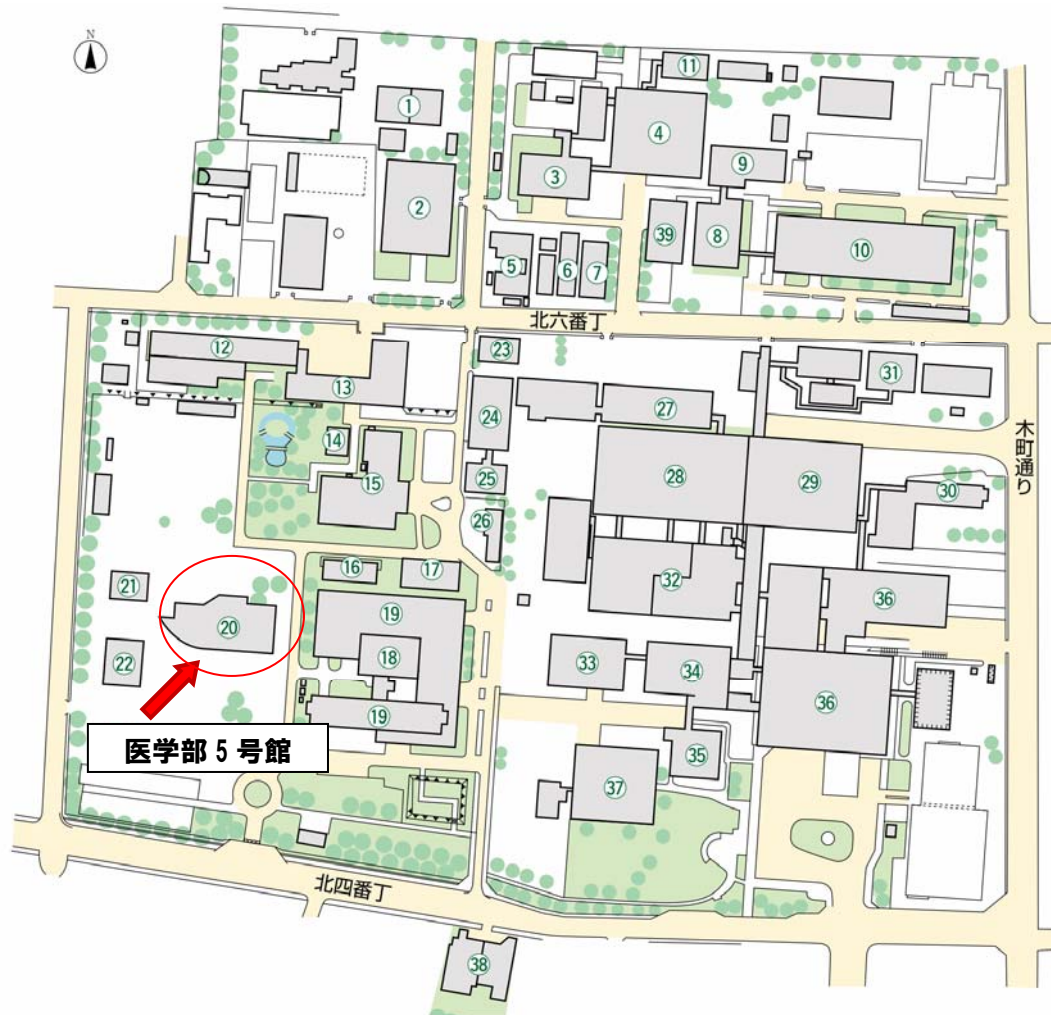
災害精神医学分野（担当：服部/大橋）

事務局メールアドレス：

cbsn-tutorial2012@bp.med.tohoku.ac.jp

会場のご案内

東北大学 星陵キャンパス



仙台市営バス

JR 仙台駅西口バスプール発 10、15、16 番のりば
「大学病院経由」または「交通局大学病院前」行き乗車、「大学病院前」下車。(約 20 分、180 円)

仙台市営地下鉄

泉中央方面行きに乗車「北四番丁駅」にて下車(約 5 分、200 円)
北 2 出口より、山形方面へ徒歩 15 分

タクシー

JR 仙台駅タクシープールより「東北大学医学部・星陵地区」で到着
約 10 分、1,300 円前後

※ 各所要時間は交通状況により異なります。